

営農技術情報

一畑作（大豆⑤）一

令和元年 7月29日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

1 病害虫防除

(1) マメシクイガおよびカメムシ類

マメシクイガは、フェロモントラップにより7月5半旬より成虫の飛来が確認されています（表1）。

表1 マメシクイガ成虫の捕獲頭数

設置場所	本年	昨年
	7月5半旬 (7/21~25)	7月6半旬 (7/26~31)
風連 (3箇所)	0~2	2~3
智恵文 (2箇所)	0	0

マメシクイガの産卵は、大豆の莢長が2~3cmとなる頃（莢伸長始）より始まります。また、ほ場内で越冬するため、連作ほ場では成虫の発生量が多くなります。

本年は、ほ場による生育差が大きい状況ですので、ほ場ごとの生育状況に合わせて防除を開始して下さい。生育がバラついているほ場では、生育の進んでいる株に合わせて防除を実施するようにして下さい。

近年、道内の各産地でカメムシ類による子実の吸汁害（しみ症状）により、販売先からクレームが来る事例が発生しています。マメシクイガとの同時防除が可能ですので、2回目の防除の際に、カメムシ類にも効果のある薬剤を選択するようにしましょう。

マメシクイガ、およびカメムシ類の防除

【1回目】マメシクイガ主体

- ・防除時期：成虫および莢伸長始の両方が認められてから6日後

【2回目】マメシクイガ・カメムシ類の同時防除

- ・防除時期：1回目防除の7~10日後。
- ※株元や莢に薬剤が十分にかかるように散布する。

【マメシクイガ・カメムシ類の防除薬剤例】（登録内容は令和元年7月26日時点）

散布時期	薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数	残効
1回目	ゲットアウトWDG	合ピレ	3,000倍	7日前	3回以内	中
	プレバソフフロアブル5	ジアミド	4,000倍	7日前	2回以内	長
2回目	トクチオン乳剤	有機リン	1,000倍	30日前	3回以内	中
	バイスロイド乳剤	合ピレ	1,000倍	7日前	2回以内	長
	トレボン乳剤	合ピレ	1,000倍	14日前	2回以内	中

※「ゲットアウトWDG」・「バイスロイド乳剤」・「トレボン乳剤」はアブラムシ類にも登録があります。

※「トクチオン乳剤」はアブラムシ類、ハダニ類にも登録があります。

(2) その他の害虫

本年は、高温・少雨が続き、害虫が発生しやすい状況が続いています。

今後は、ハダニ類が発生する可能性がありますので、発生状況を確認した上で防除を実施しましょう。

【鱗翅目害虫、ハダニ類の防除薬剤例】（登録内容は令和元年7月26日時点）

害虫	薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	回数
ツメクサガ	トクチオン乳剤	有機リン	1,000倍	30日前	3回以内
	エルサン乳剤	有機リン	1,000倍	7日前	2回以内
ハダニ類	ダニトロンフロアブル	ピラゾール	1,000~2,000倍	7日前	1回

※「トクチオン乳剤」はハダニ類にも登録があります。

(3) ダイズシストセンチュウ

ほ場内でスポット的もしくは偏在的に草丈が低く、色が淡くなっているほ場が見られます。本年は湿害の影響は小さいと考えられるため、ダイズシストセンチュウによる被害の可能性があります。発生株を引き抜き、根に根粒より小さな白色～淡黄色のツブツブが見られる場合は、ダイズシストセンチュウの卵が寄生しています。

豆類以外の作物への影響はありませんが、発生ほ場からの土壌の持ち出しにより、他のほ場へ拡大するおそれがあります。今後の作業は、できるだけ未発生ほ場から始め、発生ほ場には最後に入るようにして下さい。

また、作業後は作業機の洗浄を行った上で、次の作業に移るようにしましょう。

なお、判断がつきづらい場合は、JAもしくは普及センターへご相談下さい。

(4) 菌核病

湿度が高く、花落ちが悪い場合に発生が多くなります。開花後7～10日間隔で2～3回防除しましょう。

【防除薬剤例】（登録内容は令和元年7月26日時点）

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
スミレックス水和剤	1,000~2,000倍	21日前	4回以内
カンタスドライフロアブル	1,500倍	7日前	3回以内

農作業中の熱中症に十分にご注意下さい！

- ・ 休憩をこまめにとることで1回の作業時間を短くする等、作業内容を工夫しましょう。
- ・ 身体のだるさや頭痛等、体調の異変を感じた場合は、すぐに屋内やエアコンを入れた車中に退避するようにしましょう。
- ・ 水分や塩分をこまめに摂取し、汗で失われた分を補給しましょう。特に、気温が著しく高くなりやすい施設内での作業では、十分に注意しましょう。
- ・ 帽子を着用するとともに、汗を発散しやすい服装をしましょう。